

福島第一原子力発電所 土壌ガンマ線核種分析結果

1. 測定結果 発電所構内における土壌のガンマ線核種分析結果は下表の通り。Puの分析を行った全試料について分析を行った。
2. 評価 平成21年度に福島県で測定した土壌のガンマ線核種分析結果は以下の通りであり、これと比較して高い濃度の放射性物質が検出されている。

< H21年度福島県による土壌分析結果 >
Cs-137:ND ~ 21Bq/kg・乾土、その他:ND

(単位:Bq/kg・土)

試料採取場所		【定点】*1 グランド (西北西約500m)*2	【定点】*1 野鳥の森 (西約500m)*2	【定点】*1 産廃処分場近傍 (南南西約500m)*2
試料採取日		6/2	6/2	6/2
分析機関		日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構
測定日		6/3	6/3	6/3
核種	I-131(約8日)	1.8E+04	3.3E+02	2.0E+04
	I-132(約2時間)	ND	ND	ND
	Cs-134(約2年)	6.7E+05	2.2E+03	1.7E+06
	Cs-136(約13日)	2.7E+03	ND	6.1E+03
	Cs-137(約30年)	7.1E+05	2.4E+03	1.8E+06
	Te-129m(約34日)	8.3E+04	ND	3.1E+05
	Te-132(約3日)	ND	ND	ND
	Ba-140(約13日)	ND	ND	ND
	Nb-95(約35日)	8.8E+02	ND	1.4E+03
	Ru-106(約370日)	ND	ND	ND
	Mo-99(約66時間)	ND	ND	ND
	Tc-99m(約6時間)	ND	ND	ND
	La-140(約2日)	ND	ND	ND
	Be-7(約53日)	ND	ND	ND
	Ag-110m(約250日)	3.3E+03	ND	2.5E+03

*1 「グランド」「産廃処分場近傍」は、過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。「野鳥の森」は同じポイントを深さ方向に採取(採取不可となった時点でポイント変更)

*2 1,2号機スタックからの距離